

地域の課題 各自治体における課題分析結果等を踏まえ、転出超過等の要因として考えられる地域の課題や、働き方・職場改革が必要な理由等の課題意識を具体的に記載ください。毎年300人程度の転出超過があり、年齢・男女別の転出超過数では20～24歳が突出かつ女性の転出者が男性の転出者を上回っている。令和7年実施の転出者調査では転出理由を就職・転職とする割合は男女ともに40%を超えた。

数値目標・KPI 市が独自で設けている女性の働きやすい環境整備のための補助金利用企業数の向上、労働局と連携し福利厚生向上に取り組む企業数の向上。市内企業への就職者数の向上。



主な取組内容

令和7年から開始した女性の働きやすい環境整備補助金（トイレ等環境整備に対し補助金を出すもので企業における女性の健康課題への対応と関連）は満額まで申し込みがあった。

若者・女性の声を聞く取組として令和7年は過去5年の転出当時18～39歳の転出者に対し雇用と少子化対策に関する設問を中心とした調査を官学連携で行った。市内企業の雇用問題として高卒者採用数の減少が挙げられていたが、進学者数が増加している事、転出者が仕事を選ぶ際に重視しているのは福利厚生や安定して働けることであり、会社の規模などは優先度が低いことがわかった。

また転出者調査結果は労働局・市内商工会と雇用対策協議会に情報共有し、転出者への市内企業のPR・福利厚生、働きやすさ向上（特に男性も子育て・介護に取り組むことを前提として改善を進めていく必要がある等の取組）に向けた連携を行うことを合意している。

スケジュール・予算

令和7年 女性の働きやすい環境整備の補助金創設
転出者調査実施、市内の転出超過の要因分析
令和8年 女性の働きやすい環境整備補助金利用企業数の増加、令和7年転出者調査をもとに市雇用課題の抽出、市内企業（中小企業を含む）への共有、市商工会議所、雇用対策協議会、労働局との連携体制構築

（転出者調査は地域少子化対策重点交付金を活用した）